

# ミライアル株式会社

## 2016年1月期 第1四半期 決算説明資料

2015年6月9日

2016年1月期 第1四半期決算概要 ……

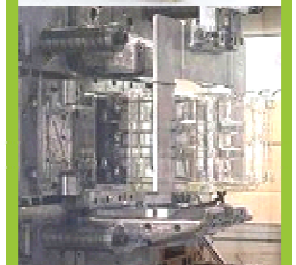
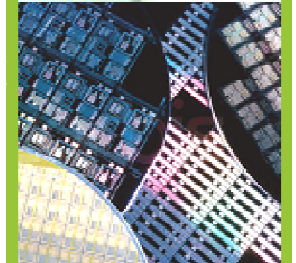
p. 1

2016年1月期業績予想 ……

p. 6

経営戦略 ……

p. 8





# 2016年1月期 第1四半期決算概要 ～ 1. 売上高/経常利益の比較

## ■ 決算概要

売上高：2,384百万円（前年同期比 4.2%増）

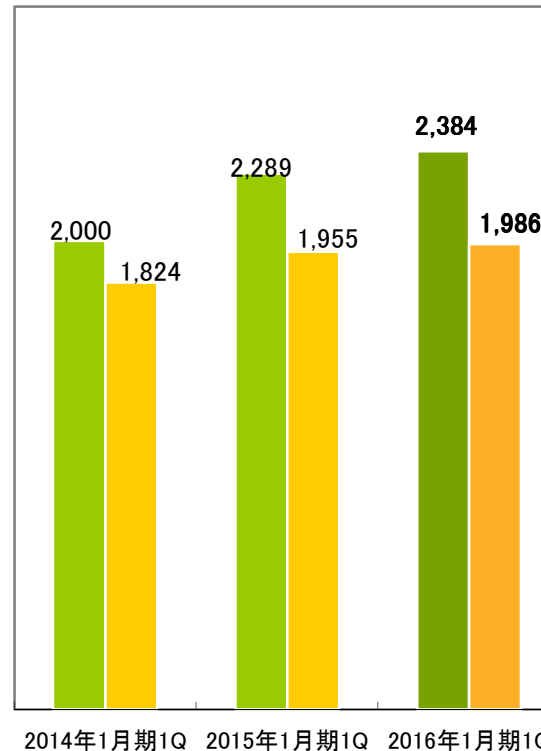
プラスチック成形事業(当社グループ主力事業)の主要販売先である半導体業界は、前期回復した需要が引き続き活況であり、シリコンウエハの出荷は好調に推移しております。一方で、当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「F O S B」は、リユースの増加という構造的な背景から、需要は弱含みで推移しました。

経常利益：342百万円（前年同期比 35.0%増）

FOSB新品需要の停滞はあったものの、生産性向上努力と他製品の売上増により経常利益は前期比で増益となりました。

## 売上高

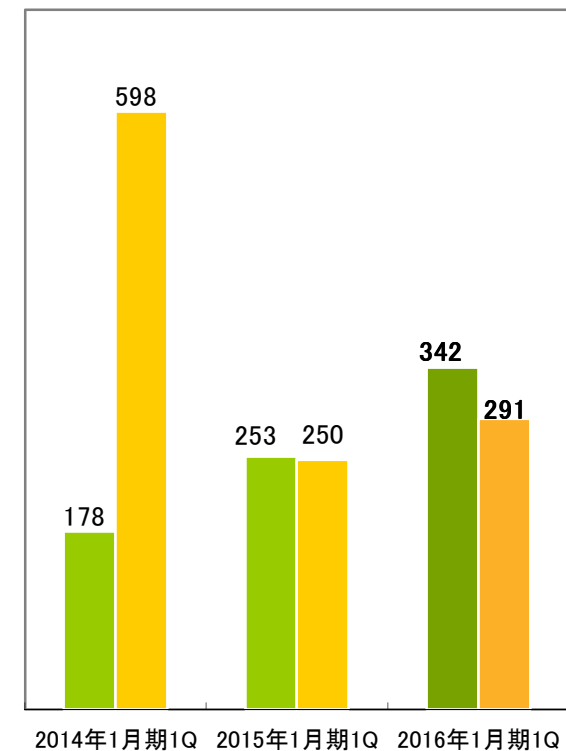
(単位：百万円)



■ 左: 連結 ■ 右: 個別

## 経常利益

(単位：百万円)

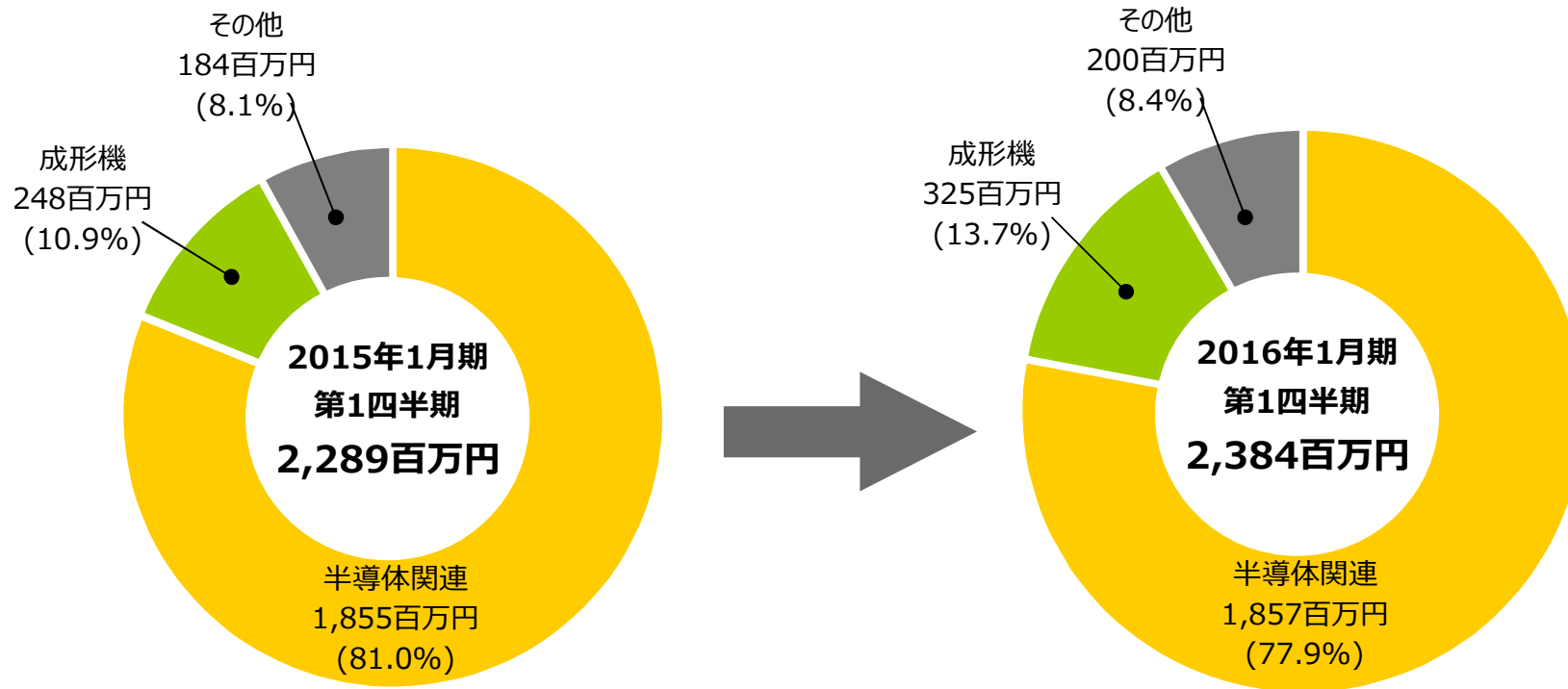


■ 左: 連結 ■ 右: 個別



# 2016年1月期 第1四半期決算概要 ～ 2. 事業別売上高の比較

## 事業別売上高（連結）





# 2016年1月期 第1四半期決算概要

## ～ 3. 業績の概要

### 連結業績

(単位：百万円・%)

	2015年1月期 第1四半期		2016年1月期 第1四半期	
	金額	前期 増減率	金額	前期 増減率
売上高	2,289	14.4	2,384	4.2
売上総利益	620	3.7	678	9.4
営業利益	188	14.2	267	42.2
(営業利益率：%)	(8.2)		(11.2)	
経常利益	253	41.6	342	35.0
税金等調整前 四半期純利益	309	73.0	294	△5.0
当期純利益	208	86.6	189	△9.1
設備投資	223		23	
減価償却	126		134	
純資産	15,050		15,569	
総資産	18,083		18,649	

### 個別業績

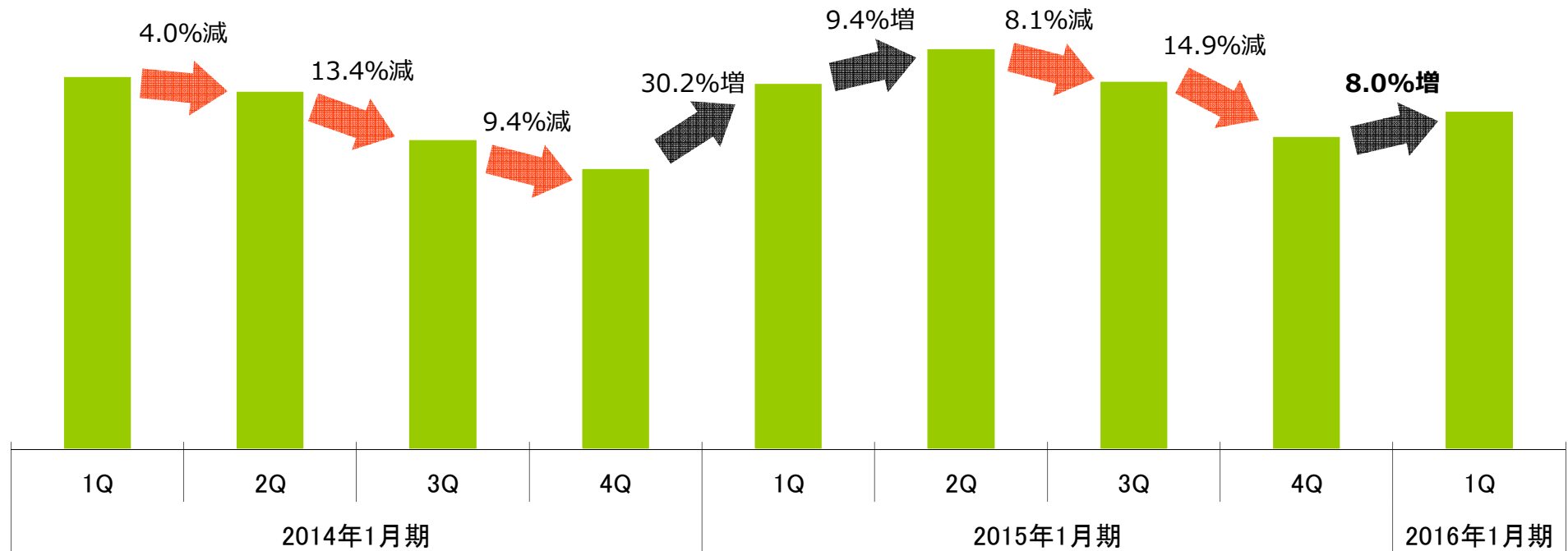
(単位：百万円・%)

	2015年1月期 第1四半期		2016年1月期 第1四半期	
	金額	前期 増減率	金額	前期 増減率
売上高	1,955	7.2	1,986	1.6
売上総利益	534	△3.4	557	4.4
営業利益	186	△2.8	217	16.4
(営業利益率：%)	(9.5)		(10.9)	
経常利益	250	△58.2	291	16.3
税引前四半期 純利益	250	△58.2	243	△2.9
当期純利益	156	△70.7	177	13.8
設備投資	169		19	
減価償却	113		126	
純資産	14,658		15,475	
総資産	17,210		17,856	



# 2016年1月期 第1四半期決算概要 ～ 4. 半導体関連製品事業の業績

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移 (四半期毎)

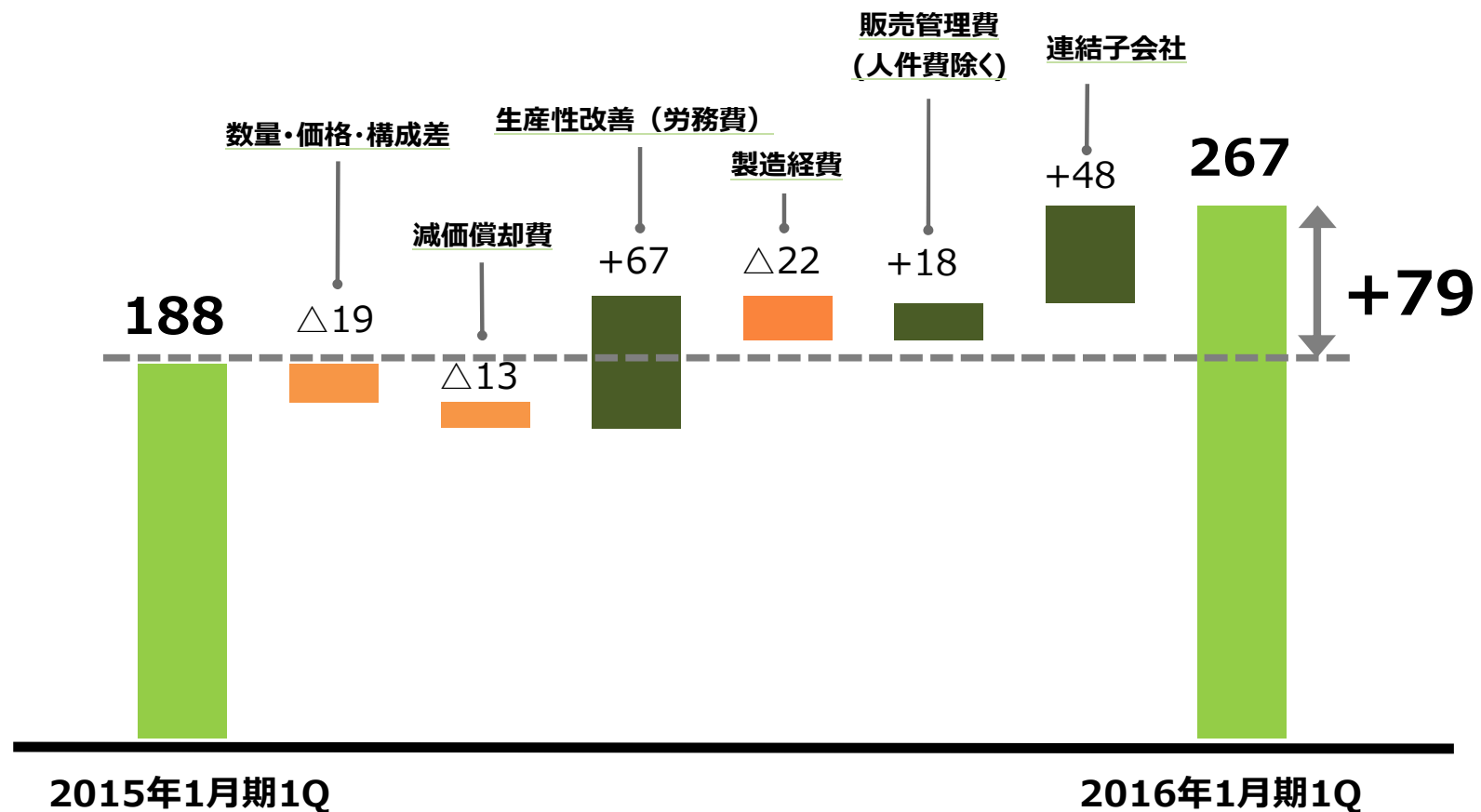




# 2016年1月期 第1四半期決算概要 ～ 5. 営業利益増減要因分析(連結)

営業利益 (連結) 対前年同期比

(単位：百万円)



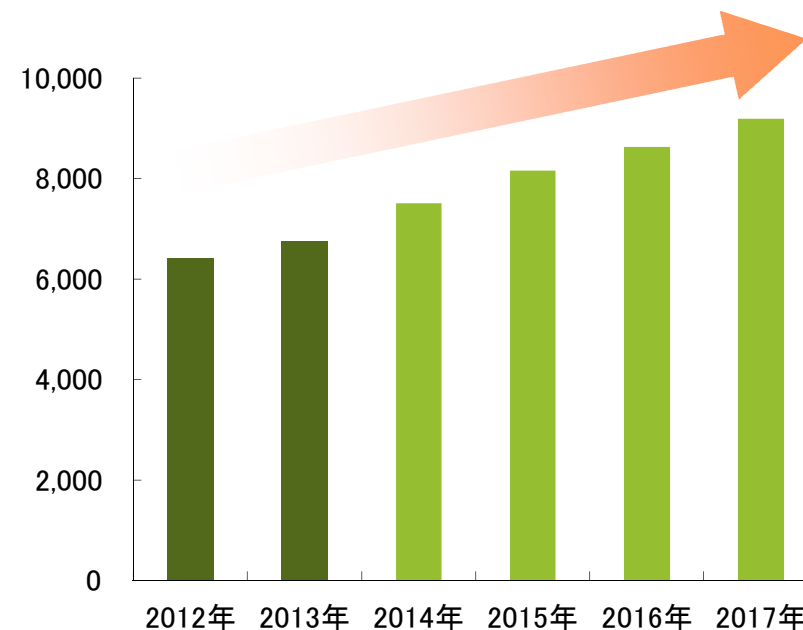


# 2016年1月期業績予想 ～1. 業績予想サマリー～

## 売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には緩やかな拡大を続けていく見通しです。
- 当社主力製品FOSBによって搬送される300mmウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。
- FOSBのリユースについては、全体の容器量に対し40%前後で推移していく見込であります。(月によって変動有り)

■300mmシリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



出典：弊社推測

## 営業利益、経常利益

- 当社は品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。



## 2016年1月期業績予想 ～2. 業績予想

### 損益計算書（連結）

（単位：百万円・％）

	2015年1月期（実績）				2016年1月期（予想）	
	第2四半期累計		通期累計		第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	4,799	16.8	9,399	12.5	4,500	△6.2
営業利益	538	46.2	1,063	85.5	410	△23.8
経常利益	687	53.5	1,259	71.6	510	△25.8
（当期）純利益	500	65.7	769	73.6	310	△38.0

### 事業別売上高

（単位：百万円・％）

	2015年1月期（実績）						2016年1月期（予想）		
	第2四半期累計			通期累計			第2四半期累計		
	金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前年同期 増減率
プラスチック成形事業	4,356	90.8	19.7	8,370	89.1	16.3	3,798	84.4	△12.8
半導体関連	4,010	83.6	15.5	7,647	81.4	18.2	3,381	75.1	△15.7
その他	345	7.2	107.9	723	7.7	△0.9	417	9.3	20.7
成形機事業	443	9.2	△5.9	1,028	10.9	△11.2	702	15.6	58.3
合計	4,799	100.0	16.8	9,399	100.0	12.5	4,500	100.0	△6.2

■ 現時点において、2016年1月期の1株当たり配当金については未定であります。





# 経営戦略 ～基本方針

1. 現存事業の競争力強化	【プラスチック成形事業】			【成形機事業】
	工程内容器	出荷容器	樹脂・金属加工	縦型射出成形機
コスト削減の徹底と品質の造り込みにより、市場でのポジションを維持・向上。	当社コア技術を応用展開し 新製品開発、 販売チャネル拡大	<u>300mm</u> シェア確保  <u>450mm</u> 市場を注視し覇権獲得	グループ内での技術連携による事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■TF機を核とした縦型の特長を活かした特殊機拡販</li> <li>■機械～金型～装置のセット販売</li> </ul>

2. 新たな収益源の構築	新製品開発	新事業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ内技術の深化</li> <li>■ グループ間連携による新分野開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内外のリソースを活用したビジネス領域の拡大               <ul style="list-style-type: none"> <li>—社内保有資源の応用展開</li> <li>—プラスチック成形事業と地続きの新分野開拓 (含 業務提携/M&amp;A)</li> </ul> </li> </ul>

3.  
グループ基盤の強化

ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組む。



# 本日はありがとうございました

## 「ミライアルの未来」

明日に向かって

## 「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

### IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 管理部

電話：03-3986-3782 FAX：03-3986-3853

E-Mail：investor\_relations-m@miraial.co.jp

#### <将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。